

2日目(10月16日)午前 テーマ「住宅政策」

事業番号 事業名	⑤ 市営住宅維持管理事業			
判定区分	(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 三原市 (要改善)	(4) 三原市 (現行通り・拡充)
評価者	0	0	3	1
市民判定者	0	0	14	2
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容は、市営住宅の維持管理。 ・ 現在、維持管理費と市営住宅の建設のための債務の返済を合わせると家賃収入など（総額約3.1億円）よりも高くなり、不足分を税金で担っている。 ・ 市営住宅長寿命化計画では、2棟の新設で総額17億円かかるとの試算もあり、市営住宅そのものの全体像を市民に伝えていく必要がある。 ・ 市営住宅の広さと、実際に入居している家族構成のミスマッチ（例えば、3DKの間取りの部屋に、1・2人世帯が多く入居しているなど）が起きているのではないかと。 ・ 入居募集の応募率は、地理的条件により大きな差がでており、その原因として、応募者のニーズの多様化があるのではないかと。 ・ 住宅の魅力を高めないとき空家への入居は進まないのでは。 ・ 民間住宅への家賃補助の検討など。 			

事業番号 事業名	⑥ 空き家対策事業			
判定区分	(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 三原市 (要改善)	(4) 三原市 (現行通り・拡充)
評価者	0	0	3	1
市民判定者	0	2	14	0
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容は、倒壊の恐れがあるなどの危険空家を把握するための調査（委託）。 ・ まだすべての調査が終わっていないものの、昨年度調査した結果の分析が不十分。 ・ 今のままならせっかくコストをかけて作るデータベースが活用されない可能性もある。 <p>など。</p>			